

第2回 周南市まち・ひと・しごと創生戦略会議（第1部会）会議録

日 時 平成27年8月18（火）13時30分から

場 所 周南市役所2F 第2応接室

出席者 ・委員 4名

佐伯哲治、竹村恭典、江本伸二、竹田英保

・担当課・事務局職員 7名

宮崎正臣、田畑宣弘、岡田周造、大平幸男、磯村幸彦、行富広康、中村成孝

会 議 議 事 録

1 開 会

（委員・職員の自己紹介）

2 グループワーク（以下、委員からの提案等）

（1）総合戦略掲載施策・事業の検討

（2）重要業績評価指標、基本目標に対する数値目標の検討

●周南市としてどうしたいかのビジョンがあると思うがどうか。

いかに税収を固定化させることが大切ではないか。民力があるところに活力が生じる。

企画としてどのような構想を持っているのか提示してほしい

●周南市の長所と短所を認識しているのか。

●今回は、戦略を考えるための分析がない。道の駅は目的がないとだめと考えている。売ることが目標ではない。一次産業振興について、生産者は目標はあるけど目的はない。後継者育成にこれから力を入れていきたい。市のほうでも、目標数値だけで目的や裏付けがないのではないのか。

●この辺の農家は、半農半X。きちんと作物を作ってなりわいにしたいという人はいる。

6次産業化について市が支援する、アンテナショップを東京に出す。農家の年収が600万以上を目標にするのはどうか。

●補助金は雑収入になる。3分の2補助金がでると、半分くらい収入になって税金がかかる。税金がかからないような制度を周南市はやってもらえないのか。

●漁業は食えない。大事なものだが、漁業を総合戦略として力点を置くものではないのではないのか。6次産業として力を注げるようなものがあるのであればよい。

●大事なものは、どれに優先順位をつけて方向をつけていくのか。具体的なものを出したほうがよい。

●周南市はコンビナートの城下町として生きていくのか。この先も企業に頼っていくのか。

そうではないと思うがどうか。

- 周南市では何が課題なのか、など課題の抽出などの各論から話し合ったら良いのではないかと。道の駅に出勤している人で、夜市に住んでいた人が、防府に引っ越した。雇用があるからと言って、必ずしも周南市に住むわけではない。
- 雇用の目標がマネーなのか人なのか。雇用が増えるというのは仕事が増えるということ。税収はどれくらいの割合で考えているのかなど数値目標を示してほしい。

3 閉会

(次回開催連絡)